

研究トピックス

鶏の低エネルギー飼料の飽食による休産調整法の開発

加齢により低下する産卵量と卵の品質を回復するため、これまで、低エネルギーの餌(ふすま)を与えて休産させる方法が用いられてきました。しかし、この方法では給餌量を制限する必要があるため、鶏に満腹感を与えることができずストレスとなっていました。そこで、ふすまにあわ殻を混ぜ、餌をさらに低エネルギーに改良することにより、鶏に飽食させ満腹感を与えながら休産させることが可能となりました。(畜産研究部)



飽食しても休産している鶏

県内ダイズほ場でホシアサガオが拡大

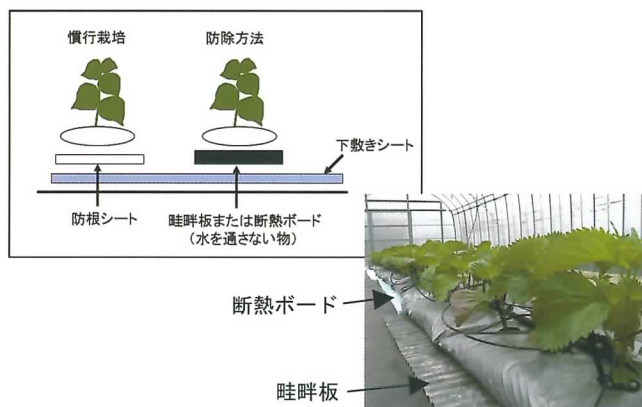
近年、愛知県のダイズほ場で帰化アサガオ類が発生し、防除が難しいため大問題となっています。従来から4種の帰化アサガオ類の発生が確認されてきましたが、2004~2008年に行った定点調査で「ホシアサガオ(*Ipomoea triloba* L.)」の発生地点数が増加していることを確認しました。この調査から「ホシアサガオ」が優占種となる可能性が明らかとなったため、本種の生態を重点的に解明し、除草技術の開発を進めます。(作物研究部)



ホシアサガオの花

袋培地栽培におけるシソのネコブセンチュウ防除技術

袋培地栽培を改良し、シソ栽培で問題となるネコブセンチュウの防除技術を確立しました。ネコブセンチュウは、袋培地底面に開けた排水穴から浸み出る水を介して侵入します。このため、地床と袋培地の間に水を通さない「畦畔板」または「断熱ボード」のいずれかを設置することで、ネコブセンチュウの侵入を防ぐことができます。(環境基盤研究部)



コンポストバーン技術の応用で牛舎の臭気低減

牛舎の臭気対策として、アメリカで近年導入が進んでいるコンポストバーン技術を応用する研究をすすめています。コンポストバーンとは、牛舎内でふん尿と敷料を攪拌して発酵をすすめる技術です。

この技術による臭気発生低減効果を明らかにするとともに牛の行動等に及ぼす影響を観察し、有効性を検証します。(畜産研究部)



試験の様子(攪拌作業)



試験牛舎内

編集・発行

愛知県農業総合試験場

〒480-1193 愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1

TEL 0561-62-0085 内線323 (企画普及部)

FAX 0561-63-0815

<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>